

令和3年度「新ハンズオン支援事業」のご紹介

～復興庁事業の特徴と効果～

令和3年3月
復興庁 企業連携班

どんな
支援？

「新ハンズオン支援事業」の概要

令和3年度の被災地企業の支援施策について、これまで実施していた2事業を「新ハンズオン支援事業（グループ支援・個社支援）」に統合。復興庁では、これまでの取組みや知見を活かし、引き続き支援実施。

～令和2年度

被災地域企業新事業ハンズオン支援事業
（主としてグループを支援）

専門家派遣集中支援事業
（主として個社支援）

統合

令和3年度

新ハンズオン支援事業

グループ支援

個社支援

〔対象地域〕

岩手県及び宮城県は沿岸部等、福島県は全域

〔対象業種〕

水産・食品加工業、卸小売・サービス業、旅館・ホテル業 等

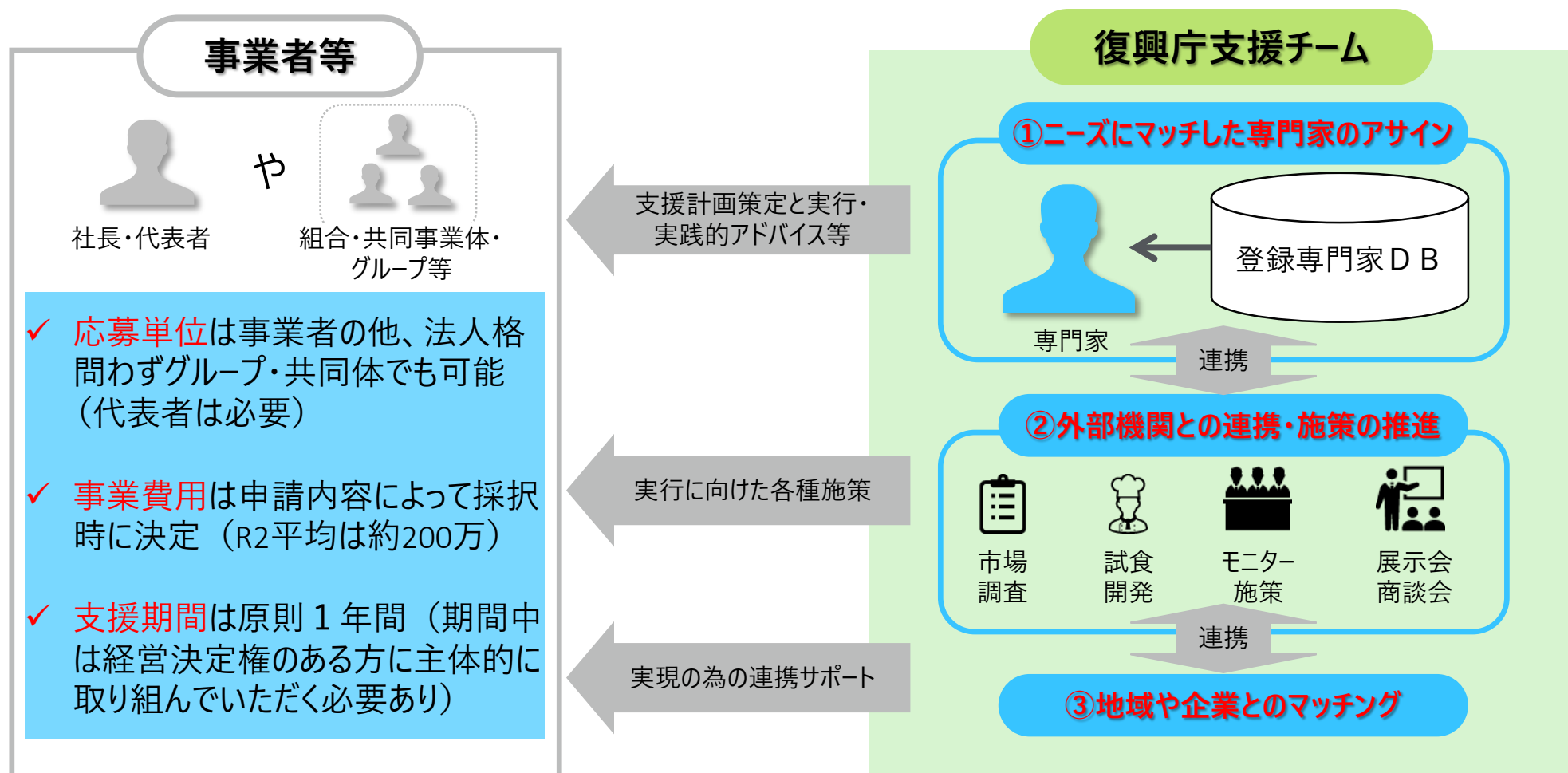
〔支援内容例〕

- ・新商品・サービスの開発
- ・既存商品の高付加価値化
- ・生産性向上・効率化
- ・商業施設の開発・運営 等

どんな
支援？

支援のイメージ

事業者等の課題・ニーズに応じて、支援チームがワンストップで支援を実行します



※案件によってはアサインされた専門家が主体となり事業を進めます

ココが
違う！

事業の特徴～4つのポイント

ポイント①

柔軟性の高さ

- 専門家を派遣（人件費）して終わりではなく、目標達成に向けた事業者の事業執行に予算が使用可能
- 市場調査、試作品開発・製造技術サポート、HP等プロモーションツール作成、フードコーディネータ・シェフ等のアサイン、展示会出展サポート、等の施策実績あり

ポイント②

充実したサポート

- 復興庁産業支援施策を支援チームがワンストップで提供しているため、必要に応じて次年度のサポートや他事業との連携が可能

ポイント③

スタッフの知見・人脈

- 行政機関や民間企業等からの出向者（R2年度民間出向者14名）で構成されたチームスタッフの知見や人脈を通じたアドバイスや企業マッチングを提供

ポイント④

豊富な登録専門家

- 商品開発、生産性向上等のプロフェッショナルが約150名登録済（R2.2現在）。その中から最も適した専門家をアサイン。新たなニーズに対応した専門家の新規登録も柔軟に対応

※専門家のプロフィール例については「別添」参照

ご検討
にあたり

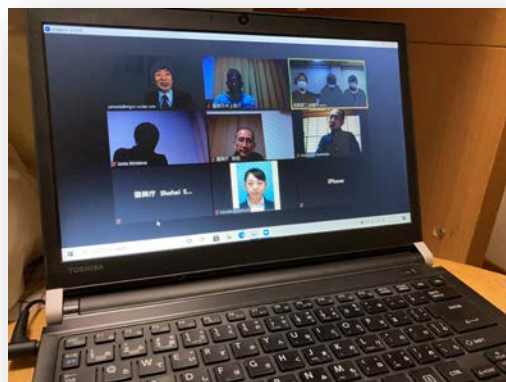
例えばこんな事業者ニーズに対応します①

コロナ対応

- 首都圏の商談会やイベントが軒並み中止になったので、オンライン商談を通じてバイヤーにアプローチしたいが、手法や効果的な訴求法をトレーニングして欲しい
- リアル店舗での集客・販売が厳しいので、新チャネルとしてネット事業を立ち上げたい 等

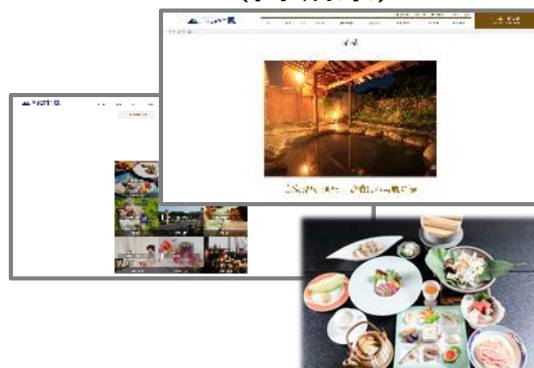
支援例

福島県いわき市内複数事業者



オンライン商談を「オンライン練習」
を兼ねてアドバイス・実践

遠刈田温泉 バーデン家壮鳳
(宮城県)



インターネット集客及び体験型
宿泊プラン造成・メニュー開発

上山琥珀工芸 (岩手県)



主要販売チャネルである「道の駅」への
来客数激減対策にECサイト立ち上げ

ご検討
にあたり

例えばこんな事業者ニーズに対応します②

販路拡大・誘客

- 常連客に支えられていたが、今後の事業承継も見据えて若年層の呼び込みも想定しコンセプトの見直しやインターネットを通じた集客手法に取り組みたい
- 首都圏への販路拡大に取り組みたい 等

支援例

丸永佐藤海産物店（福島県）



首都圏バイヤーを意識した
商談ロールプレイング

めんの旭屋（福島県）



新商品開発及びインスタLIVE
による情報発信支援

飯塚商店（福島県）



首都圏流通事業者の現地視察の
コーディネート、マッチング支援

ご検討
にあたり

例えばこんな事業者ニーズに対応します③

新商品開発

- 飲食店向けの卸売りが中心に展開しているが、新たな事業の柱として個人の自宅消費向けに自社商品を再開発して販路拡大したい
- 地元の素材を生かした料理メニューを開発して地域全体をプロモーションしていきたい 等

支援例

北三陸ファクトリー（岩手県）



地元食材を利用し通年販売が
可能となる新商品を開発

工房おりをり（福島県）



真綿素材を生かした新商品開発
とギフトショー出展サポート

チーム鳴子温泉郷（宮城県）



首都圏高級レストランシェフと連携し、
「地大豆豆腐」レシピを開発

ご検討
にあたり

例えばこんな事業者ニーズに対応します④

工場の生産性向上

- 自社工場の生産性を改善し、供給量を上げ事業拡大すると同時に、従業員の働き方改革を推進し新たな雇用につなげたい
- 工程の品質改善や衛生管理体制の構築により工場のブランド力を高め取引先を拡大したい 等

支援例

松栄（岩手県）



衛生管理体制の構築支援
HACCP 認証取得

石川食品（宮城県）



工程改良やシステム再構築等の
指導による生産効率の向上

小野精工（宮城県）



工程の見える化、管理体制の構築、
2S（整理整頓）、多能工化指導

利用者 の声

実際に事業を活用した事業者の声



大船渡温泉

(岩手・大船渡市)

- ✓ 専門家の指導で目指すべき方向を整理したことに加え、日本一と言われる旅館も視察させていただき従業員のモチベーションアップになりました。結果、じゃらんアワードを受賞したり、ネットの口コミランキングでは同地域では常に上位を争うまでに成長できました



(株)こだま

(宮城・仙台市)

- ✓ 老舗のどら焼きを「なつかしい味」としてリブランディング。SNSなどの情報発信も強化し、メディアからの取材等もあり新規顧客からの受注など売上が増加しました
- ✓ 事務局から事前に丁寧なヒアリングを受け、自分と相性の良い専門家をアサインしてもらいました。成功の秘訣はこれに尽きます



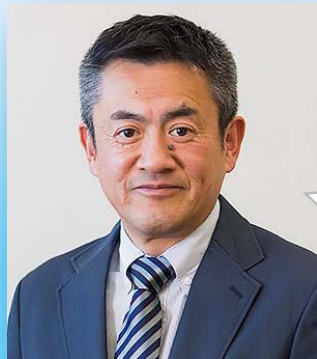
(有)福島路ビール

(福島・福島市)

- ✓ 専門家の先生には新商品（シードリッシュュガー）開発で原料調達の目利きから、復興庁事業ならではの展示会出展サポートもしていただき新たな商談の獲得ができました
- ✓ 支援後は自立して業務を行っていますが、他地域の酒類事業者を紹介いただく等、専門家とは良い意味での関係性は継続しています

利用者 の声

登録専門家からのメッセージ



元気化研究所 代表
佐藤和也氏

「回数」ではなく「期間」を通じて集中的に支援が出来る為、いわゆる支援の「寸止め」にはならず、事業をやりきることが出来る

【主な支援実績】

(有)丸繁商店（宮城・気仙沼市）
(有)竹屋製菓（岩手・久慈市）ほか



ライズ エイジ コンサルティング 代表
宮崎秀和氏

事業執行の為の予算（販促物等）が使える点は他事業ではあまりなく、自由度の高い支援が可能。
成果を出しやすい仕組み

【主な支援実績】

(有)阿部亀商店（宮城・塩竈市）
(有)ナカショク（岩手・大槌町）ほか



(株)パイロットフィッシュ
代表取締役 五日市知香氏

一言で言って事業者にとって「使い勝手が良い」支援事業。支援対象の広さや支援に必要な経費を復興庁でかなり負担してくれるので、事業者も思い切ってチャレンジできる

【主な支援実績】

石山水産(株)（岩手・山田町）
A家食堂（福島・いわき市）ほか



営業設計コンサルタント
山田英司氏

PR方法、売れるパッケージ開発、販促ツール制作までワンストップで対応でき、
復興庁チームと連携したマッチング等多方面から支援も可能

【主な支援実績】

タムラ電子(株)（福島・田村郡）
カネキ商店（福島・いわき市）ほか

今後の予定とご相談窓口について

✓ 今後のスケジュールは以下を予定しております

3月下旬	新ハズオン支援事業の外部委託業者（事務局）の決定・同事業の公募条件確定
4月上旬～5月中旬	同事業の公募期間
5月下旬	同事業の案件採択
6月以降	同事業の支援開始

✓ 当事業をより理解いただくため、公募締切前に「事業説明会」を実施します

日時 令和3年4月16日（金）15:00～16:30 [予定]

形式 オンライン形式（Zoomを想定）

内容

- ①事業概要説明
- ②登録専門家によるケーススタディ
- ③事業者による支援事業体験談
- ④申請書の書き方・ポイント解説
- ⑤質疑応答※希望者はその後個別相談会を実施予定

対象 事業者ほか商工団体、行政機関、金融機関などの支援団体

申込 復興庁 企業連携推進室（kigyo-rs@cas.go.jp）にメールにて申込 [令和3年4月6日〆切]

※事業者名（グループ名）、代表者名、連絡先（電話、Email）を連絡ください。後日ID等を送付します

※商工団体様等がまとめてお申し込みいただいても構いません

※「オンラインの経験がなく参加が難しい、不安」等があれば個別にご説明することも検討しますのでご相談ください

✓ 「こんなことも出来るの?」「事前に一度相談したい」等あれば、お気軽に連絡ください

復興庁 企業連携推進室 TEL：03-6328-0267 FAX03-6328-0298

担当 星・嶋根・佐藤 Email：kigyo-rs@cas.go.jp

〔別紙〕 登録専門家による支援の軌跡と成果の紹介

登録専門家による支援事例紹介

1

元気化研究所 佐藤和也 氏

コピーライティング(ブランドコンセプト設計)、商品開発、プロモーションツール整備

2

ライス・エイジコンサルティング代表 宮崎秀和 氏

新規事業立上げ、商品開発、デザインコーディネート、販路コーディネート

3

ハンズバリュー株式会社 代表取締役 島田慶資 氏

温泉旅館やホテルなど宿泊施設に対する経営コンサルティング

4

渡辺技術士事務所 代表 渡辺 芳照 氏

生産管理・生産システム改善、トヨタ生産方式導入(TPS導入)

事業者には 【独自価値】が必ずある (自分ができる、人はやらない、社会に求められる)

元気化研究所
代表 佐藤 和也 氏

盛岡市在住



専門家紹介

プロフィール

■ 盛岡市出身。法政大学経営学部卒。株式会社就職情報センター（リクルートグループ）の制作部に約3年間勤務後、株式会社博報堂に転じ、自動車メーカー、出版社、鉄道会社、製薬会社などを担当。その後、株式会社盛岡博報堂、株式会社仙台博報堂、株式会社東北博報堂に勤務。2013年、地方の小規模事業者の“元気化”に向けて、マーケティングからコミュニケーション表現までの一貫サポートを目指した「元気化研究所」を立ち上げた。2016年より復興庁 専門家派遣集中支援事業の登録専門家として支援実施。

専門領域

- 事業戦略・マーケティング戦略・ブランド開発・製品開発・表現開発・広告戦略・PR戦略
- 復興庁、中小企業庁、いわて産業振興センター・岩手県よろず支援拠点、岩手県商工会連合会、盛岡商工会議所などの登録専門家

復興庁 支援実績

- ① (株)長根商店（岩手・洋野町）：商品コンセプト設計・ロゴ制作、ブランド戦略策定、プロモーションツール整備など
- ② (株)宏八屋（岩手・洋野町）：事業コンセプトの整理・ブランドコンセプト設計、商品パッケージデザイン制作など
- ③ (有)丸繁商店（宮城・気仙沼市）：独自価値の明確化と言語化（コピーライティング）、新商品開発、ホームページリニューアルなど
- ④ (有)竹屋製菓（岩手・久慈市）：ブランド戦略策定・ブランドコンテンツ開発、新商品開発、商品パンフレット制作など

ハンズオン支援の取組事例

支援先事業者：有限会社丸繁商店

事業概要

- 宮城県気仙沼市に所在する海藻の加工・販売を行う卸売業者
- 昭和56年創業、メカブ、アカモク、ワカメ等を主力商品とし販売展開



支援背景

- 他社商品との差別化を図るため、日常食として販売しているメカブを「腸活商品」をコンセプトに、商品リニューアル・販路拡大を図りたいと考えていた

支援概要

- 既存製品を腸活用商材に仕立てても、他社製品との根本的な差別化にはつながらないと考え、「美味しさを引き出す他社に真似できない製法」を独自価値としブランド力の向上を支援

支援への想い

- 事業者は自社の「凄さ（強み）」をわかっていないだけ
- 事業者の「独自価値」を見出しマーケットを創りたい

支援のポイント

- メカブの腸活作用をウリにして、商品コンセプト設計から商品リニューアルを専門家支援で実施したい
- 支援先
- 腸活は他のメカブも同じであり差別化は難しい
 - 食べると本当に旨い、製法が他者とは全く違う
 - この「独自価値」を言語化し、「高級メカブ専門店」と位置づけたブランディングを支援しよう
- 専門家

支援の成果

- 独自価値「旨味封じ込め製法 うまネバ」を言語化し、ブランドコンセプトを設定
- 当該コンセプトに基づき、商品パッケージや販促ツールを整備



事業者支援のプロが教えるホントのポイント！

支援成功の秘訣

事業者の独自価値を「自分ができる」「人はやらない」「社会に求められる」の視点で再定義

支援失敗の要因

支援先事業者の受入体制で「責任者（経営層）の不在」や「専門家に全てお任せ」など取組意欲が低い場合は成果が出にくい



「良いもの」から「売れるもの」へ (出口戦略を見据えた実態調査の実践)



東京都在住

専門家紹介

プロフィール

- 大学卒業後、大手企画・製造・販売会社（1部上場）にて店舗運営管理責任者を経験した後にマーチャンダイザーとして外部環境分析、仕入予算計画立案や、商品企画・計画など行う。現在はフリーのコンサルタントとして、地域活性化、農商工等連携、6次産業化の支援などを中心に、新規事業立上げ、ビジネスモデル構築、コンセプト立案、商品開発支援、デザインコーディネート、販路コーディネート、ブランド化サポート等のマーケティング、事業計画策定支援などで活動している。

専門領域

- 地域資源活性化支援、農商工等連携支援、6次産業化支援、商品開発支援、新規事業開発支援 など
- 復興庁、6次産業化中央サポートセンター、食農連携コーディネーターバンク（FACO）などの登録専門家

復興庁 支援実績

- ① (株)丸ほ保原商店（宮城・石巻市）：新商品企画開発、消費者・業務用ニーズ調査（ターゲティング）、販路開拓など
- ② 森下水産(株)（岩手・大船渡市）：新規事業確立に向けた商品コンセプト立案・商品企画設計、市場調査、デザイン制作など
- ③ (有)工藤食品（岩手・釜石市）：既存商品強化（商品仕様、デザイン制作など）、販促ツール制作など
- ④ (株)阿部亀商店（宮城・塩釜市）：新商品企画開発、ブランドコンセプト設計、プロモーションツール制作など

ハンズオン支援の取組事例

支援先事業者：株式会社阿部亀商店

事業概要

- 宮城県塩釜市に所在し、三陸産の水産物の輸出、生マグロやカツオを中心に製造加工・販売を行う卸売業者（創業明治16年）



支援背景

- 地域が活性化するように地元で水揚げされた鮮魚を加工製造販売できる仕組みを作りたいと考え、食品添加物を入れないビンナガマグロを使った自社オリジナル商品化と販売を検討していた

支援概要

- 商品化に際し、商品開発や市場調査の方法論をガイダンスし、ターゲットとブランドコンセプトの重要性の理解促進と設定を行い、新商品規格の設定や商品デザイン制作、レシピやリーフレット等の販売促進ツールの企画開発を支援

支援への想い

- 専門家が主役ではなく、事業者が主体で市場調査や商品開発の手法を定着し、自走化できる環境を整備したい

支援のポイント

支援先

- 当社主力のツナ商品のウリである、食品添加物不使用、三陸産の高鮮度・高品質をウリに商品化や販売ツールを作りたいと考えている

- 健康志向者が増えている（流行っている）だけで、事業の方向性や商品開発を進めるのではなく、出口戦略を見据えた市場調査を実施し、当社の独自性と市場性を明確にしましょう

専門家

支援の成果

- 競合・市場調査をもとに商品特徴の洗い出しを行い、特徴及び優位性の整理
- ビンナガマグロを活用したツナレトルト加工商品の完成、販促ツールの整備



事業者支援のプロが教えるホントのポイント！

支援成功の秘訣

専門家と事業者が「One Team」となり、事業者が主体性をもって、専門家のノウハウを吸収・定着し、自走環境を整えることが重要

支援失敗の要因

「一緒に成果を上げていく」の気概が感じられず、「お客様」的な受け身姿勢の事業者は成果が出にくく、一過性の支援で終わってしまう

これまでのやり方を改め、
一からやり直す覚悟を持ちましょう！

ハンズバリュー株式会社
代表取締役 島田 慶資 氏

山形市在住



専門家紹介

プロフィール

- 大学卒業後、株式会社旭ブレインズにてマーケティング戦略立案、プロモーション、Webサイト構築などを経験した後にハンズバリュー株式会社を立ち上げ、東北地域を中心とした温泉旅館やホテルなど中小規模の宿泊施設に専門特化し、事業再生支援、マーケティング戦略策定、集客コンサルティング、Webマーケティング、ホームページ制作、ITツール導入サポートなど幅広い領域でコンサルティング提供し、「自社の個性を磨いて新規のお客様を獲得」できる仕組みの構築をサポートしている。

専門領域

- 温泉旅館やホテルなど中小規模の宿泊施設に対する経営コンサルティング、ホームページの制作、販売促進支援 など
- 復興庁 登録専門家、福島県よろず支援拠点 コーディネーター

復興庁 支援実績

- ① (有)旅館ひのえまた（福島・檜枝岐村）：市場調査、Webサイトリニューアル、宿泊プランの企画立案など
- ② (株)二幸（宮城・蔵王町）：自社ホームページのアクセス改善、情報発信強化、宿泊プラン・メニュー企画開発など
- ③ (有)山形屋旅館（福島・喜多方市）：施設コンセプト再設計、顧客分析、Webサイト構築、ネットエージェント活用戦略立案など
- ④ トモエ屋旅館（福島・相馬市）：ネットエージェント活用戦略立案、Webサイトリニューアル、顧客情報整理（データ化）など

ハンズオン支援の取組事例

支援先事業者：株式会社二幸（バーデン家 壮鳳）

事業概要

- 宮城県蔵王町の湯刈田温泉郷（開湯約400年）にある温泉旅館であり、当館の温泉は、遠刈田温泉の中で唯一の泉質「ナトリウム-炭酸水素塩泉」が特徴である



蔵王町

支援背景

- 東日本大震災後、県外からの観光客を中心に宿泊客の減少が続いており、集客強化を図るべく「美容と健康」をテーマとし、新規顧客設定及び宿泊プラン企画、販売方法などを模索していた

支援概要

- 新たなターゲット層を明確化し、「美容と健康」をテーマに施設コンセプトの再設定、Webサイトリニューアル、新規メニュー（豆腐メニュー＋蔵王高原野菜）と宿泊プラン（蔵王自然体験）、ネットエージェントの活用戦略立案などを実施

支援への想い

- 自社の強みをわかることなく無駄な努力をしてはいけない
- 「今あるモノ」を活かして新しい付加価値を創る

支援のポイント



支援先

- 当館の経営理念「美と健康の宿」をベースに「温泉＋蔵王の自然＋体に優しいお料理でおもてなしをする」の方向性で集客強化を図りたい

- 当館には「質の良い素材」「澄んだ空気」「専用設備」「豆腐職人の技」など良い豆腐をつくる条件が整っており、差別化ポイントとして商品開発等に活用すべきである



専門家

支援の成果

- 魅力再定義、新規食事メニュー開発（豆腐スイーツ、豆乳スープ等）、新規体験型宿泊プラン「蔵王自然体験」の開発、Webサイトのリニューアル など



事業者支援のプロが教えるホントのポイント！

支援成功の秘訣

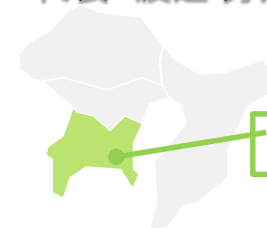
これまでの自分のやり方を疑い・改め、一からやり直す覚悟を持ち、自社や地域の魅力を再発見するとともに、“ご当地感”を再設定

支援失敗の要因

「設備投資で売上げが増えるという幻想」や「おもてなし幻想」などの幻想を捨てきれず、これまでやってきたことと決別できない

モノづくり力は、まず品質！ QCD(品質・コスト・納期)の改善から

渡辺技術士事務所
代表 渡辺 芳照 氏



神奈川県在住

専門家紹介

プロフィール

- 大学卒業後、味の素(株)にて国内工場の業務システム改善を通して、品質の安定化、生産現場での作業のムダ排除、標準化を中心に Q C D（品質安定化、原価低減、納期短縮）の向上を目指し、食品工場へのトヨタ生産方式の導入を実践
- 2012年より、被災地支援活動として釜石市、大船渡市において起業家育成を目的に“なりわい再生塾”、“なりわい未来塾”の研修開講を実施し、起業、事業再生の為の事業計画作成等を指導している

専門領域

- 生産管理（原価管理、多品種少量在庫管理等）、生産システム改善（QDC改善、再設計）、トヨタ生産方式導入（TPS導入）など
- 復興庁 登録専門家、公益社団法人日本技術士会（海外活動支援委員）、技術士協同組合会員（技術コンサルタント）

復興庁 支援実績

- | | |
|-----------------------|---|
| ① (株)ささ圭（宮城・名取市） | ： 生産工程のムダ排除（作業時間の標準化等）、生産管理の仕組みづくりなど |
| ② (株)石井商店（宮城・塩竈市） | ： 作業の標準化・少人化、生産方式の変革、製造原価の低減、生産計画書の策定など |
| ③ 石川食品(株)（宮城・東松島氏） | ： 製造工程の改善、工程内仕掛在庫の削減、品質の安定化、改善リーダーの育成など |
| ④ カネヨ山野辺水産(株)（宮城・塩竈市） | ： 製造工程QCD性能の向上、工程間の連結性向上、現場統制者の育成など |

ハンズオン支援の取組事例

支援先事業者：石川食品株式会社

事業概要

- 宮城県東松島市に所在し、カップサラダや袋サラダなど調理済食品の製造販売を行っており、代表的な商品として、野菜の煮物などの「うま煮シリーズ」や特許製法による「うま煮里いもシリーズ」がある



東松島市

支援背景

- 当社のレトルト食品事業において、積極的な販売活動、新商品開発により受注増は増大傾向にあるも、レトルト製造工程の生産能力が市場拡大に追いつけず、生産管理の仕組み再構築が課題である

支援概要

- “モノの流れ”ムダ排除による工程間の連結性改善、生産スピードの適正化、生産能力の増大を図る
- “人の動き”のムダ排除による、作業のムダ排除、標準作業の設定、作業負荷の軽減/平準化、日程計画等作成の仕組みづくり

支援への想い

- 共通の経営課題「人手不足」解消に向け、生産工程改善・生産体制構築、品質管理向上に資する支援は効果がある

支援のポイント

支援先

- 現有的人材及び設備を十分に生かした、品質の安定化及び作業の標準化・平準化に基づく新生産方式の再構築が喫緊の課題である

- 製造工程の改善・改革を推進し、販売部門との連携を前提にした計画重視型生産体制で、安定・少人化・平準化生産方式を構築していきます！

専門家

支援の成果

- 生産能力増強の達成(1.5倍)、欠品ゼロ、納期厳守、顧客対応力を大幅増強
- 本社工場の独自生産方式を構築、生産性を大幅向上
- 品質判断基準の明確化による現場の“見える化” など

事業者支援のプロが教えるホントのポイント！

支援成功の秘訣

生産性改善の考え方では、生産量を1.5倍に増加したいと考えている事業者が支援成果（改善効果）が高い

支援失敗の要因

生産へ性が伸びても新規販売先が見込めない事業者への支援は、生産性向上に資する支援の効果は出にくいと考える